

安全・危機管理ワーキンググループ 議事概要

平成28年1月5日

文責 坂谷定生

開催日時：平成27年12月4日（月）18：30～19：30

開催場所：株式会社トーヨーアサノ6F会議室

出席者：植松副会長、坂谷GR、平井理事、剥岩理事、鈴木一行、渡辺康夫 計6名

<議事概要>

坂 谷：これまで緊急対応フローチャートについて協議してきたが、会議の中で出た意見等を反映させて作成したのがお手元のフローチャート（資料. 1, 2）で、メールでお示した後皆様方からは特に意見がありませんので、これでいいのかと思いますが、最終的にチェックをしてもらいたい。WG（ワーキンググループ）としてはフローチャートを含め、これまでの意見や考え方を提言として纏め理事会に提出することとしたい。また、この提言をもって当該WGを閉じることとしたい。

剥 岩：安全委員会は事故防止について啓蒙活動をしているが、実際事故が起きた時どうするかと考えると、JSAFの中に事故調査委員会的なものが必要と思う。先般航空機関係の事故調査委員会会議に出席したところ、事故があるとすぐに調査をして公表するので大変勉強になる。JSAFでもこのような体制が望まれる。

渡 辺：WGとして議論していることからすると、対象は誰かということと事故発生時の対応に関してではないかと考える。起きた時どうするのという部分を追求することではないか。

剥 岩：航空機の場合は事故データをずーと蓄積しており、我々はそれを見ると大変勉強になる。

<坂谷からこれらのことを纏めた文書を提示> （資料. 3）

坂 谷：2. に記載したようにJSAFと加盟団体間に契約行為が無いと事故報告が出てこないのが現状だ。全団体と契約行為をするとなるとなかなか進まないと思う。

植 松：全体が難しいなら外洋関係団体だけでも契約することにして、事故が起きたら必ず報告書が上がるような方向にもって行くのがいいと思うし、関係団体からはそう抵抗は無いと思う。

- ・ 平井理事からフローチャートのオフショアの部で資格制限の部分と緊急対策本部における電話の件、インショアの部の事故原因調査部分について指摘があり、調整した結果添付のように決定した。（資料. 4、5）
- ・ 提言書案についても協議した結果、添付のように修正した。（資料. 6）

坂 谷：最終的に提言書として纏めたいので、この案に肉付けする内容があれば、追加して整理するので示して欲しい。今後のスケジュールとしては提言書を2月の理事会に報告し、当WGは一旦閉じることとしたい

以上で閉会した。